

# 社会教育人材ネットワークに係る調査・検討の方向性

目下、中央教育審議会生涯学習分科会社会教育人材部会における検討と並行して、「今後の生涯学習・社会教育の振興方策について（令和5年3月8日）」に基づき、社会教育人材のネットワーク化の手法に関する調査・検討を進めていくこととなっている。

（参考1）

## 具体策①：社会教育人材ネットワークの構築・展開

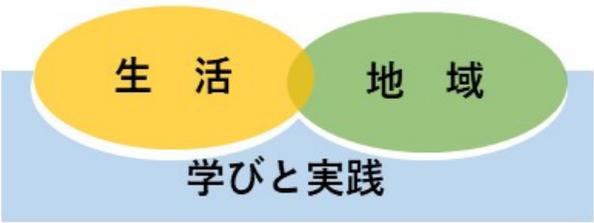
- 社会教育士の活躍促進や、社会教育士の横のつながりを強化するため、社会教育主事講習・養成課程の実施機関である大学等の協力も得ながら、社会教育人材のネットワークを構築・展開する。
- ネットワーク化の手法を調査・検討した上で、令和5年度中にネットワークを構築し、展開を図る。
- 研修情報の周知、イベントや個別相談対応への協力依頼等ネットワークを活用する。
- 対象者、活用方法等の詳細は、集約する情報の種類（氏名や属性等）や、集約の主体・手法等とあわせて検討する。また、ネットワークの自主的な活用や人材の確保の観点から、社会教育主事OBや社会教育主事養成課程の学生等の活用も検討する。
- ネットワークの構築・展開にあたっては、デジタルバッジ等の活用可能性もあわせて検討する。

## 工程表

令和4年度中	令和5年度		令和6年度		令和7年度以降
	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月	
具体策①	ネットワーク化の手法の調査・検討		社会教育人材ネットワークの構築・展開		ネットワークによる社会教育士の活用促進

# 地域の学びと実践プラットフォーム (イメージ図: 地域づくりに役立つ社会教育)

## 生活を支えるリテラシーの向上



## 地域づくりを支える社会教育の実現

**市長のツイッターで何? マイナンバーカードってどう役立つの?**

公民館のデジタル入門講座で学べますよ。講座受講者のA氏に地域のサポート役を依頼したので教えてもらえますよ。

**オンラインで学習したい SNSなどで仲間と繋がりたい**

公民館で学習したことを活かしてSNS上でグループを作りましょう。

公民館所属 [社会教育士]

**簡単な日本語をあなたの母語で学べるデジタルコンテンツがありますよ**

必要な情報にアクセスしたい 地域の一員として参画したい

生涯学習推進員 (社会教育主事OB)

**ネットスーパーでの買い物をスマホから試してみよう。スマホで病院までの距離や時間タクシーも調べられますよ**

車いすになって普段の買い物もひと苦労だ。急な通院、診療時間に間に合うだろうか?

学生 [社会教育士養成課程]

## 社会教育人材ネットワーク

**社会教育主事・社会教育士**  
(地域における学びと実践のコーディネーター)

## 地域の学びと実践プラットフォーム

**公民館等**

- デジタルリテラシーの学習機会を保障
- 仲間・地域とリアルで繋がる場も提供
- デジタルの活用で多様な学び・学び合いの機会を充実
- 公民館の運営自体も住民の参画の場に

**地域づくりを担う後継人材が育たない**  
**行政主導の地域振興イベントの効果は一時的なものになりがち**

イベント運営参画を機に継続的な地域づくりに資する人材が育つよう、社会教育士研修で学んだ地域住民を巻き込むワークショップ的手法を社会教育担当の協力を得て取り入れてみよう

**地域づくり担当部局 [社会教育士]**

防災訓練は、児童生徒に対する防災体験学習や非常食の試食も取り入れて、楽しく多世代で学べる場にしたら、参加率が上がるぞ

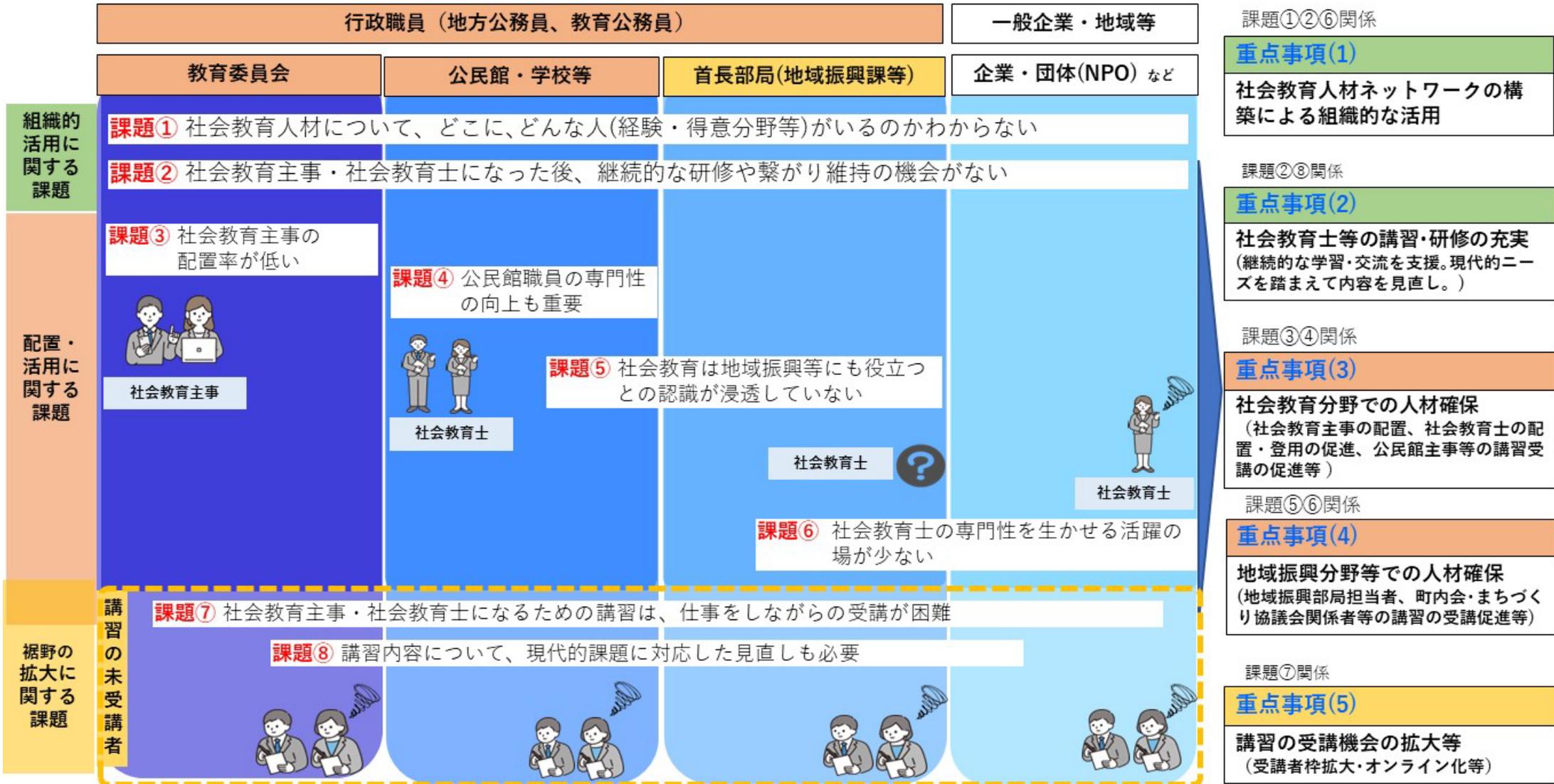
**町内会メンバー [社会教育士]**

地域学校協働活動、PTA、子ども会の活動に携わっていた方と社会教育士ネットワークの研修で知り合ったから協力を依頼してみよう

**企業人 [社会教育士]**

社会や地域に貢献したいと思っている知り合いの企業・団体にも、地域活動への協力を依頼できますよ

# 社会教育人材の活用に関する現状の課題と重点事項 (重点的に取り組むべき事項)



出典：文部科学省ホームページ「今後の生涯学習・社会教育の振興方策（重点事項）について」  
[https://www.mext.go.jp/content/220328-mxt\\_syogai03-000024695\\_5.pdf](https://www.mext.go.jp/content/220328-mxt_syogai03-000024695_5.pdf)

# 1. 求められる機能について

社会教育士をはじめ、行政職員に限らない社会教育関係の幅広い人材のコミュニティを形成していくにあたり、社会教育人材ネットワークにはどのような機能が求められるか。

## (想定される機能)

- ・一定の地域内のつながりや、地域を超えたつながり等、社会教育士等が緩やかにつながることができる
- ・研修情報など、社会教育士等が継続して学べる機会に関する有用な情報が提供される
- ・地域ごと、トピックごとに関心のある社会教育士等が集まり、具体の対応事例の共有など経験交流ができる
- ・行政機関の施策や社会教育士等が主催する事業の実施に当たり、協力を求めることができる（イベント開催や個別相談への対応に際し、協力依頼等を行うこともできる、等）

## 2. 調査・検討の方向性（令和5年度）

- 本年度は、主として、社会教育士及び社会教育主事を主たる対象として取組を進める。  
その際、社会教育に携わる人材は非常に多様であるため、社会教育主事やその経験者、社会教育主事養成課程の学生その他の社会教育に携わる関係者が広く活用する可能性を念頭に置きながら、実現可能性の高い手法を検討する。
- 社会教育人材ネットワークに求められる機能やその具体的な手法に関しては、議論の具体化と早期の実施に資するよう、関係者からの意見聴取の機会を設けるとともに、関係者の参加（任意協力）も得て具体的な課題を特定していく（オンラインに関する検討は、文部科学省で利用可能な環境を活用予定）。
- 取組の進捗等について、今年度中を目途に本部会に報告する。